

ワンネスグループスタッフが、 テレビ番組で薬物依存症について 情報発信をしました!

2月上旬に元プロ野球選手が覚せい剤所持・使用の疑いで逮捕されました。この事件を受け、ワンネスグループでは薬物依存症について、正しい、そしてより深い理解をしていただきたいとの思いを込めて、メディアに対して緊急会見を東京・大阪・沖縄・広島・福岡にて行いました。テレビのニュースや新聞で、私たちからの情報を多くの方に受け取っていただけたと実感しています。さらにこの一連の流れを受け、2月24日には読売テレビの情報番組「情報ライブ ミヤネ屋」にて1時間を超える特集が組まれることになりました。当日、グループからGARDEN(奈良)スタッフの一森裕と井上麻希がスタジオで生出演し、自分の経験を含めて、薬物依存症について、またワンネスグループでの回復方法について、堂々と語ってくれました。ワンネスグループに関係する多くの皆さんが、2人の姿に感動してくださり、また今、依存の苦しみの中にある方々からの相談が急増するなど、反響の大きさに、私たち自身が驚いています。

とくに「ミヤネ屋」では、「薬物は怖いものだ」という今までのスタンスから、「なぜやめられないのか」「どうやったら回復できるのか」といった、乱用や依存の背景や、薬物から離れるための具体的な方法までをわかりやすく伝えられたことが画期的でした。回復方法がわからず、今、苦しみのさなかにいる方々からの連絡が増えたことは、番組からのメッセージが伝わった証だと感じています。一方で課題も見えてきました。私たちはもっと自分たちの存在をわかりやすくアピールし、もっと多くの方々に助けの手が届くよう活動したいという、スタッフの自発的な情熱がふつと沸き立っています。今回の相談の中にはまったなしの状況の方もいらっしゃいました。すぐに入所し、スタッフが24時間体制で寄り添い、クライアントの皆さんもその熱意に呼応してくれています。一人ひとりに確実に助けの手を伸ばせるよう、またその手を放さないように奮闘しています。



会見の様子。各地で会見を開き、新聞社、テレビ局などから取材を受けました。スタッフの機動力が効果を発揮!



ミヤネ屋に出演した井上と一森。反響の大きさに本人たちも驚きました。緊張するはずの生出演でも堂々としていたのは今まで何度も自分の経験を語ってきたからこそ



奈良のワンネスグループ施設で取材を受ける一森。日ごろ取り組んでいる「ギャザリング」や「感情を言語化するワーク」など、回復プログラムを丁寧に取材してくださいました

TV番組で紹介されました!

2月4日	朝日放送「キャスト」／読売テレビ「かんざい情報ネット ten」／日本テレビ「NEWS ZERO」／TBSテレビ「あざちゃん」
2月5日	NHK「ニュースウォッチ9」
2月6日	読売テレビ「ウェイクアップ! ぶらす」
2月19日	琉球放送「RBC ザ・ニュース」／琉球朝日放送「ニュースQプラス」
2月24日	読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」

沖縄県内の教育関係者と 依存症予防教育について 意見交換会を行いました。

2月19日 / 男女共同参画センターにいる



今、沖縄でも子どもの貧困が社会問題として注目されています。ワンネスの活動がひとりでも多くの子どもたちの笑顔につながるよう努めます

ワンネスグループは沖縄も活動拠点のひとつです。クライアントが沖縄で回復を目指すだけでなく、地域と密接に連携を取り、地域の社会問題へも専門家としてアプローチすることを積極的に行ってきました。その一環として、今回、那覇市内5つの高校から、保健体育、養護教諭などに参加いただき、さらに那覇保護観察官にも列席いただいて、学校の現状を教えてください意見交換会を開催しました。今、学校の現場ではどのような予防教育をしているのか、また何が必要とされているのか、率直な意見をいただく機会となりました。薬物乱用や喫煙の危険性、スマホの取り扱いについて、SNSから発展する危険なできごとなど、緊急の対策が必要な現状が垣間見えました。

中では「子どもたちによるスマホ依存や薬物乱用は症状のひとつに過ぎず、問題の原因ではない」とことを、私たちは強調しました。自己肯定感が足りない、プレッシャーで心が不安定な状態にあることが原因となり、そのはけ口としてタバコやネットなどを「ゲート」として、最終的にドラッグなどに行きついてしまうメカニズムを解説し、「ゲート」にたどりつく前に子どもたちの心をフォローすることが大きなポイントであることを伝えました。問題となるものを遠ざけるだけでなく、どう理解し、どう向き合うのか、また薬物などを使用してしまったら、どうしたらいいのか、関係性を築く中で伝えたいという使命感を感じています。また子どもだけではなく、その親も含めて予防教育、啓発活動を広めていくことの必要性が強く感じられました。とはいえ、こういった会が開催できたこと自体が前進です。今回の意見交換会には教育委員会も関心を寄せてくださっています。今後はさらにたくさんの学校と意見交換会が開けるように、活発化させていきます。



▼若者依存症予防教育に関する特設サイト
http://oneness-g.com/youth



若い世代を乱用・依存から守りたい!
「若者向け乱用予防・依存症予防の取り組み」の
特設サイトを製作。ますます活発化させています。

ワンネスグループに入所しているクライアントやスタッフなど、依存症を経験した人にアンケートを行うと、依存対象とのつきあいはじまった時期が10代という方が多く、とくに親の監視が遠のき始める中学時代以降は、依存性の高い物質や行動と出会う確率が高まるという傾向にあります。こういった背景を受けて、中学生、高校生、大学生といった若い世代に向けての予防教育、啓発活動を積極的に行っています。

そんな中、3月13日(日)には、大阪の若者文化の発信地であるアメリカ村において、ダンスや音楽など自分たちの才能をステージで披露するイベント「ベリタレ。」とコラボしました。ワンネスグループ奈良施設からバンドやダンスのチームがステージに登場し、オリジナルソングやダンスなどで自分たちを表現しました。かつて若い頃、大阪の街で依存症になるきっかけができた者、苦しい時間を過ごした者もいます。その場所に今度は違う自分で帰ってくるのができた。きっと世界が変わって見えたことでしょ。心のこもったステージに、応援にかけつけてくださった方々も喜ばれていました。

私たちの若い世代へ向けての予防教育や啓発活動について、特設サイトを制作し、現在、ワンネスグループの本サイト内で公開しています。ぜひ多くの方にご覧いただき、学校への講演や勉強会といったアクションへつなげていきたいとおもっています。ぜひご覧ください。

リチャード・グレイ博士来日! ブルックリンモデルと トラウマリリースを学ぶ 連続講座を開催しました。

1月22~24日、
29~31日in東京



20年に渡り米国保護観察省に勤務し、ブルックリンモデルの創始者であるリチャード・グレイ博士。心理学では博士号、社会学では修士号を取得し、刑事司法と心理学が専門。

海外講師を招聘して行われるセミナーの2016年の第一弾は、リチャード・グレイ博士によるブルックリンモデルとトラウマリカバリーを学ぶ連続講座でした。昨年、博士の体調不良により、一度、延期になったセミナーだったこともあり、満を持しての開催です。サンタさんのようにふくよかで、そこにいだけてみんなが笑顔になるようなハッピーなオーラをまとった博士に空港でお会いできたとき、感動がかけぬけました。

グレイ博士は約20年に渡ってアメリカ保護観察省に勤務し、ブルックリンモデルを編み出しました。このプログラムは神経言語プログラムのテクニックを活用して、深いところにある自分を掘り当て、依存症やPTSDなどのトラウマを超えて、新たな自己実現の人生を築くためのプログラムです。アメリカ・ニューヨーク州では、保護観察所のプログラムとして採用され、絶大な効果をあげたほか、9.11(アメリカ同時多発テロ事件)でつらい思いをした方や米軍を退役した方が抱える、心の問題やトラウマの治療でも使用されています。シンプルでわかりやすいプログラムは、カウンセラーにとって使いやすく、また効果が明確にわかる点でも注目されています。

今回は「プライベートグループセッション」「トラウマリリースワークショップ」「ブルックリンモデルスペシャリスト認定コース(レベル1)」の3つの講座が開催され、どちらも大盛況のうちに終了しました。グレイ博士がお住まいのアメリカ・ブルックリンまで赴いて教を請う方が、世界中に大勢いる中、ワンネスグループの熱い呼びかけにこたえてくださり実現した、今回の訪日。博士ご自身も十分な手ごたえを感じてください、再来日をお約束してくださいました。次回は「スペシャリスト認定コースのレベル2」、また「エンディングのアーキタイプワークショップ」となる予定です。詳細は決定次第、ワンネスグループのホームページやブログでお伝えいたしますので、お楽しみに。

アミティトレーニング プロジェクトを ふりかえって



前号のニュースレターでもお伝えいたしましたが、1月~2月上旬にかけて世界的に有名なアメリカの治療共同体「アミティ」より、カウンセラーのララニー・ベトウェイさんが来日し、「ワンネスグループ」との、約1カ月にわたるトレーニングプロジェクトが開催されました。2月3日(水)には「女性の依存症における『治療共同体』の役割」と題してセミナーが開催され、無事に全部が終了し、ララニーさんは帰国されました。

この密度の高い時間を共に過ごす中で、ララニーさんの背中から学んだことは計り知れません。自身もかつては依存症の経験があり、今は愛と寛容に溢れたララニーさんという女性の存在は、まだ回復の過程にある仲間たちの心のガーデンに、燦々と「希望」の光を照らしてくださいました。「自分が与えてもらった、よりよい生き方を続ける機会を、他の人も手にできるように手助けすることが、今の自分の目標であり情熱でもある」という、印象的なララニーさんのメッセージ、それはワンネスグループのスタッフ一人ひとりの思いに重なるものでした。

2月20日(土)、21日(日)には奈良のワンネスグループ施設に、全国各地のスタッフが集まって、ララニーさんからの教を分かちあうワークショップを開催しました。ララニーさんから受け取ったスキルや愛情を、さらに多くのスタッフとわかちあうこと、ワンネスグループらしいノウハウになじませることで、教を大切に継承していきたいと思っています。これからもアミティのスタッフとの交流を続け、よりよい関係を築いていきます。

スティーブ・ビナイ・ガンサー先生による ファミリーコンステレーション ワークショップを開催しました。

3月5日(土)・6日(日)in東京

昨年、10月に沖縄で開催され、受講者の方々と密度の高い時間をシェアしてくださった、オーストラリアを代表する心理療法家のスティーブ・ビナイ・ガンサー先生。早くも再来日され、今回は家族間のトラブルを表面化し、個人の問題解決へと導くファミリーコンステレーションのワークショップを開催してくださいました。個人が抱えている問題は、その方が属する「家族システム」の中で生じている滞りや障害(魂のもつれ)によって引き起こされている可能性があるもの。このワークでは魂のもつれを探しだし、表面化させることで、問題への新しいアプローチや気づきを提示しました。依存症の問題に悩まれるご家族も参加され、受講者の方々からはシンプルでわかりやすく、自分と家族を客観視できたと感想をいただきました。



オーストラリア国家認定のカウンセリングプログラムを提供して下さるスティーブ・ビナイ・ガンサー先生。



受講者同志が疑似家族を作って、その方が抱える問題を一緒に体現化し、解決の方法を探すワークが何度も行われました



グレイ博士のユニークで明るいお人柄に、笑いが絶えなかった受講者の方々と、奥さまと一緒に来日され、仲睦まじい様子で滞在を楽しまれました

受講された方の感想 /

プライベートワークショップでは、大御所による本気のワークを何度も見る事ができ、トラウマリリースWSでは、今まで知らなかった手法もいろいろと教えていただきました。一番感動したのは、NLPトラウマケアワークと曝露療法を中心とする、従来のトラウマケアワークの神経学的違いについてです。

初日、個人セッションから6日間、すべて参加しました。セッションで実際の現場での使い方を体験できたのは、とても大きな資産です。流動的に集中的にポイント的に進めるマジックは、とても魅力的でした。

※その他の感想はワンネスグループHP内特設サイトで掲載しています。

★その他のワークショップ情報★

※料金など、詳しくはワンネスグループHP内特設サイトをご覧ください。

●エリクソン催眠プラクティショナー、マスタープラクティショナー認定コース
プラクティショナー認定コース6月2日(木)~5日(日)10:00~18:30(受付9:30)
マスタープラクティショナー認定コース6月10日(金)~13日(月)10:00~18:30(受付9:30)
会場: 両国KFC (東京都墨田区横網1-6-1)
※ミルトン・エリクソン直系ロクサーナ・エリクソン博士と、ダン・ショート博士のダブル講師で開催。

●ミルトン・エリクソンの心理療法
『レジリエンスを育てる』の著書2人による来日記念講演会
6月8日(水)18:30~20:45(開場は18:15)
会場: 東京ウイメンズプラザホール

●ソーシャルバノラマ・コンサルタント
認定コース7月29日(金)~31日(日)、8月6日(土)・7日(日)10:00~18:30(受付9:30)
会場: NATULUCK東陽町(東京都江東区東陽3-27-32 玉河ビル5階)
※8月6、7日は下記会場にて開催

上級認定コースI 8月6日(土)・7日(日)10:00~18:30(受付9:30)※再受講者のみ
上級認定コースII 8月8日(月)・9日(火)10:00~18:30(受付9:30)
会場: ハロー貸会議室神保町(東京都千代田区神田小川町3-10 新駿台ビル5階)
※昨年末に行われ好評だったソーシャルバノラマの神髄をさらに深く学べるコース。開発者のルーカス・ダーク博士再来日が決定。